

第4章 母塾への想い

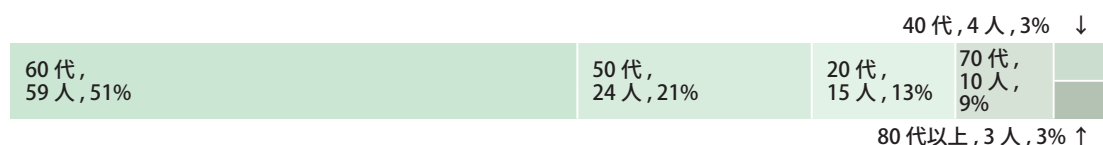
アンケート結果報告



母塾への想い ―アンケート結果報告―（実施期間：2021 年 5 月 23 日～6 月 20 日）

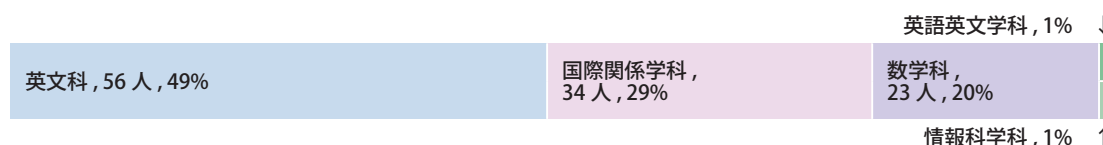
茨城支部創立 15 周年の記念誌作成に際し、なるべく多くの方に関わっていただきたいという思いからこのアンケートを企画しました。率直なご意見を頂戴しやすいように無記名とし、対象を支部会員外の同窓生にまで広げ皆の母校に対する思いを聞き、支部会員の方には併せて今までの支部活動の感想や今後に向けての要望をお尋ねしました。アンケートは、郵送とネットを併用、Google フォームで回答を集計しました。アンケートを通し、寄せられた回答 120 件のうち、有効回答は 115 件。以下に各問とその回答を報告させていただきます。

問 1 年齢は？（回答：115 人）



アンケートへの参加者は、60代と50代が大半を占めた。30代の回答は得られなかった。

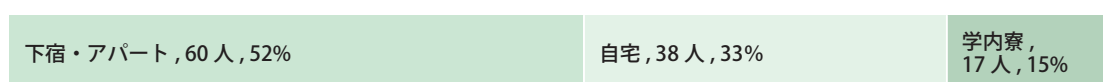
問 2 卒業学科は？（回答：115 人）



英語英文学科から 1 名、情報科学科から 1 名の回答があった。

本結果報告では以降、英語英文学科の 1 名は英文科に、情報科学科の 1 名は数学科に含めた。

問 3 自宅、もしくは寮・下宿、どちらに住んでおられましたか？（回答：115 人）



問 4 津田塾大学に入学する際、どのような利点を理由に津田を選択しましたか？

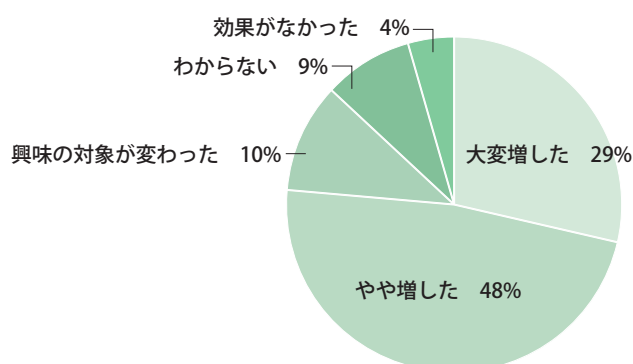
（複数回答可、回答：114 人）

専門知識の習熟の高さ	54	その他：津田梅子（6）、英語の津田（4）、 地方での知名度、伝統・歴史、武蔵野の環境 のよさ、入学試験科目が数学、国語、英語の 3科目だけだったこと、学内寮があったから、 難関校で入学したかった、帰国子女枠があっ たから等。
質実剛健な校風	50	
国際的な視野を広めたいから	38	
将来志望職につくのには有利だから	26	
女子大	9	
友人・先輩・教員・家族の勧め	8	
学費の安さ	7	

問5 在学中にどのような効果がありましたか？（複数回答可, 回答：109人）

専門知識の習熟（66）、質実剛健な校風（55）、将来希望職につくのには有利（37）、国際的な視野の拡大（37）等の回答があった。その他としては、良き友人との出会い（2）、人脈の拡大（2）、誇りを持たせてくれた、勉強する癖がついた、人格形成、社会的信用等の回答が得られた。

問6 在学中に、専門分野に対する興味・関心・意欲が増しましたか？（回答：115人）



問7 津田での学生生活で、向上したことはありましたか？（複数選択可、回答：111人）

未知の事柄への好奇心、探求心（56）、自主性、やる気、挑戦心（52）、専門分野への興味（40）、粘り強く取り組む姿勢（39）、協調性（32）、洞察力、発想力、論理力（30）、英語による表現力（30）、国際感覚（28）、独創性（12）との回答が得られた。

その他：津田塾出身というブランドに恥じないように自分を律し物事に真面目に取り組む姿勢、友人、一人暮らし、Liberal Arts の重要性、常識的な行動力、不況にも強い生き方等。

問8 学内外を問わずサークルに入っていましたか？（回答：114人）

はい,
94人, 82%

いいえ,
20人, 18%

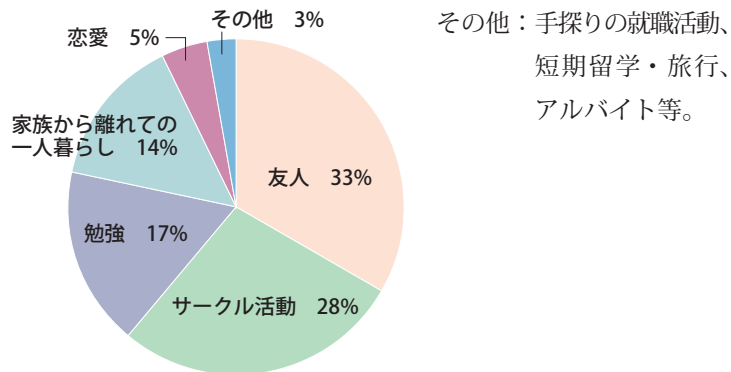
入っていたサークルは？（複数回答可、回答：88人）

テニス部（15）、電算研（5）、放送研究会（5）、バドミントン部（5）、バレーボール部（4）、人形劇部（4）、ESS（4）、他大学との体育系サークル（5）、他大学との音楽系サークル（4）、書道（3）、マンドリンクラブ（3）、ユースホステルクラブ（3）、茶道部（3）、合唱部（3）等の回答を得た。

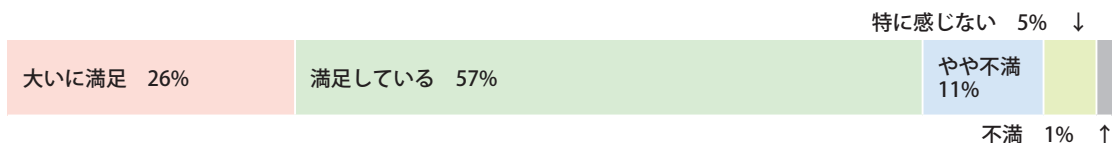
サークルに入っていなかった理由は？（複数回答可、回答：15人）

理由：関心のあるサークルがなかった（6）、勉強が忙しいから（2）、通学時間が長かったから（2）、親に反対されて（2）、家業・バイトで多忙（2）、学内寮が長期休み中閉鎖だったから（1）、特に理由なし（1）。

問9 学生時代で一番思い出に残っていることは？（回答：111人）

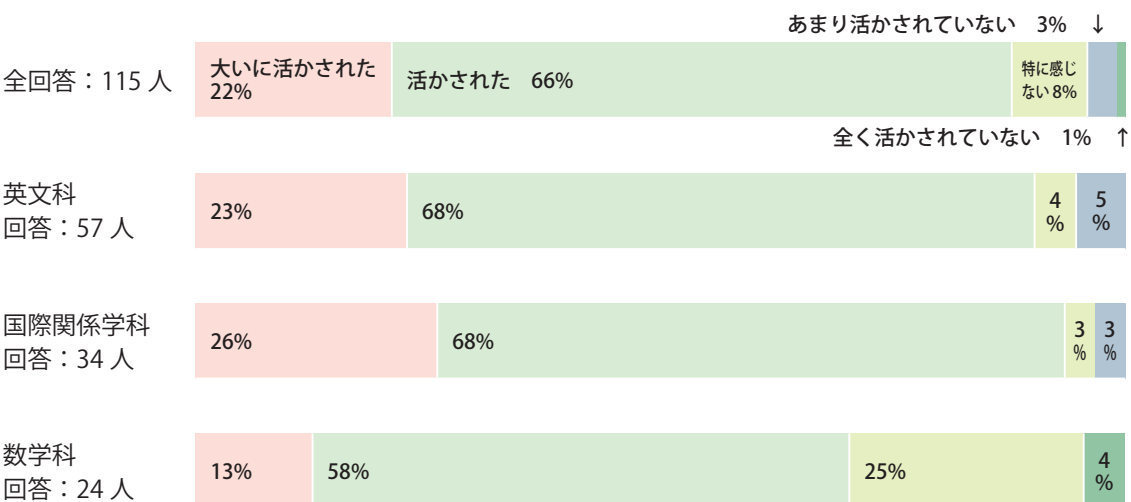


問10 ご自分の津田の学生生活を振り返り、満足していますか？（回答：115人）



大いに満足または満足していると回答した割合は、83%に達した。その割合を学科別でみると、英文科 82%、国際関係学科 85%、数学科 79%となった。

問11 卒業後を振り返り、津田で学んだことや経験が活かされたと感じますか？



「活かされたこととは、具体的にどのような内容ですか？ またその理由は？」との問いに多くの方から真摯なコメントを頂戴することができた。我々卒業生にとっても、未来の津田塾生のためにも価値があると考え、全文をそのまま載せることとした。

活かされたこととは、具体的にどのような内容ですか？ またその理由は？

大いに活かされた

- 20代 社会に出てから答えのないことばかりで、非常に苦労しました。でも大学の先生からの教えや、友人との会話があったからこそ乗り越えられた気がします。
- 50代 留学の機会を与えてもらいました。その経験がその後の社会人生活に大きなプラスになりました。
- 50代 仕事や奉仕活動の分野で
- 50代 物ごとくに真摯に取り組む姿勢
- 50代 英語をかなり専門的に勉強し、今母校で教えていること
- 50代 教職に就き、更に合唱部の顧問も経験
- 50代 日本語または英語で文章を書く（レポート、プレゼン資料など）時に英語のライティングの授業で習った論理展開、文章構成等が役に立った。また、英語を日常的に使用する業務の場合、書く、読む、聞く、話す、全てにおいて英文科で学んだことが役に立った。
- 60代 語学力（英語・日本語）を必要とする仕事に就けたこと、および駐在生活で英語が役立った。いろいろなところで「津田出身なら」と信頼を寄せられた。
- 60代 高校の英語の教師になりました。生徒たちに英語を学ぶことにより、世界に目をむけてほしいと心がけました。
- 60代 英語に関して
- 60代 海外生活を楽しめた。英語教育や地域の国際活動にも熱意を持って取り組めた。
- 70代 卒業後結婚し、すぐアメリカに行きました。英語が役立ちました。
- 70代 出身大学を尋ねられて「津田」というと、一目おかれるのでそれだけに変なことはできないと思う。又、自分も後輩のために役に立つことをしなければと責任を感じる。

英文科

活かされた

- 20代 人脈
- 20代 教職課程
- 20代 自主性、協調性、プレゼン力等、社会人として役立つことが非常に多い
- 40代 英語の専門性。社会的な責任を果たす力。
- 50代 英語関係に常に携わる意識
- 60代 頑張っている先輩や同輩に刺激を受けたことが向上心に繋がっていると思うから
- 60代 一人の自立した人間であること
- 60代 教育
- 60代 シェイクスピア専攻で、セミナーの先生にシェイクスピアをハープでアプローチする視点もあると聞き、在籍した学校にシェイクスピアハープ園を作りました。
- 60代 生涯の友を得て、希望の職に就けた
- 60代 教師としての知識 自立した生活
- 60代 職場や英語勉強会で同窓生ということで力になってもらうことがよくあった
- 60代 自分と違う価値観を尊重すること
- 60代 視野が広がったと感じる
- 60代 英語の知識
- 60代 不勉強だったのに卒業後に英語が役立った
- 60代 語学力や論理的思考力。仕事をしていく中で、それに助けられていると思う瞬間がよくあったから。
- 60代 商社で、貿易実務担当。海外在住時の交流
- 60代 ロンドン支部でお世話になり、文化活動が出来知り合いも出来ました。

活かされたことは、具体的にどのような内容ですか？ またその理由は？

活かされた

- 60代 感性の全く異なる人の存在に驚いた。その人を理解することを試みる姿勢を身につけた。
- 70代 英語について実力以上の評価を受けた
- 70代 何事であれ、自分に厳しく。結果 今の自分がある。
英語を学んだことにより、教職についたこと、海外生活で困らなかったこと、我が子たちとお友だちの英語の勉強をみることができたこと、日本語を教えるボランティアができたことなどです。
- 70代 自分に自信が持てたこと、努力することや自主性
JALに就職して大阪の国際空港でグランドホステスとして働きました。津田塾で native English を教えて頂いた結果、外国人に対する不安はありませんでした。安心して会話をする事が出来ました。
- 70代 卒業後の教員生活を楽しめたのは津田での学びのおかげです。
- 80代 回答が難しい。津田でというのが4年制の大学で学んでと取るか国公立ではなく私学の津田以上 田でと取るかで回答が変わってくる。後者だとしてそれ以外の経験がないので比べにくい
- 80代 以上 中・高生に対する英語の指導

特には感じない

- 50代 帰国子女として日本社会で生きぬく協調性や交渉力を身につけたかった

あまり活かされていない

- 60代 もっと勉強するべきだったのに、できずに終わってしまった事が悔やまれる。
- 60代 社会貢献できてないと思う。

大いに活かされた

- 40代 大学で生まれた人間関係（1年ゼミの友人、先生方）、津田出身ということで生まれる信頼感
- 50代 津田スピリットは自分の中に生きていると思う。心の支えになっていると思う。
- 50代 途上国支援に関わる仕事につけた
- 50代 主体性が育まれたと思います。
- 50代 即戦力がまわりに認められました（企業）
- 60代 英語のスキルや知識が増した。
- 60代 津田でフランス語と出会った。私の第2の母国語になっている。
- 60代 調べたことを数十ページの報告書にまとめられたこと
- 60代 英語を教える仕事に就いたので。

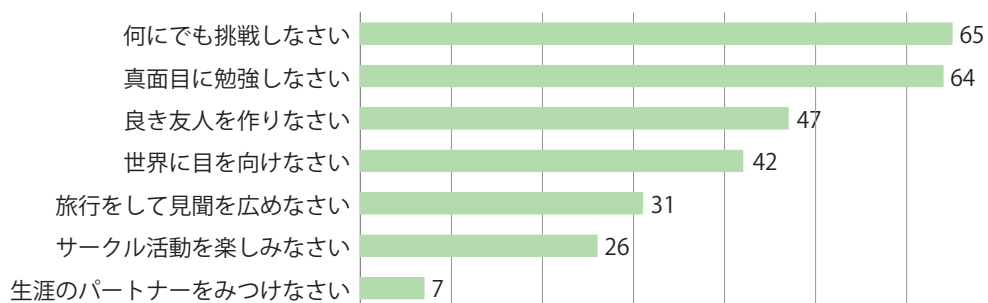
活かされた

- 20代 男性社会の職場での女性としての生き方
- 50代 責任をもって最後までやりとげる力など。
- 50代 己を持つ女性として立つこと、多様性を認めること
- 50代 国際感覚や英語力を活かせる仕事につけました
- 50代 異文化間コミュニケーションについて
英語の教員免許を取得できたので、仕事に活かされたと思います。津田で学ぶことのできた英文学や英語学などは仕事を離れたとしても一つの教養として人生を豊かなものにしてくれたと感じています。
- 50代 世界にはたくさんの文化があり、様々な考え方があることを学んだので、他者との違いや多様性を受け入れられるようになった。このことは生きていく上で大変役に立っている。

活かされたことは、具体的にどのような内容ですか？ またその理由は？

国際関係学科	活かされた	
	50代	グローバルな視点を持てたこと
	60代	学び続ける姿勢
	60代	日本全国から学生が集まっていた。接する事により、幅広い世界感を得られた。
	60代	生きていく上での物の見方全般
	60代	ジェンダーフリー
	60代	Liberal arts を基底にして、より深く学ぶ勘所や方法論を容易に見つけることができた
	60代	自立心
	60代	子供達に英語や外国の文化を伝える仕事に就き、津田塾を出ていることが高い信頼につながりました
	60代	他人との接し方、努力継続の意義などを体得したことにより、仕事の上で何かしらの形で自信に繋がったと思われる。
	60代	力不足のため具体的な実を結ぶことはできませんでしたが、キリスト教を基盤とした少数人数教育を重んじる環境の中で過ごしたことによって、後の人生にとっても良い影響を与えてもらえたと感じます。
	特には感じない	
数学科	20代	無回答
	あまり活かされていない	
	40代	学ぶ目的が明確ではなかったなので、どの講義も中途半端になってしまったと感じます
	大いに活かされた	
	20代	未知な物事に対して自分の力だけで調べて解決していく癖がついたのでエンジニアとして1人で仕事を任されることが増えた
	60代	数学科にて最先端のコンピュータの原理や理論を習得することができて、コンパイラを開発し、アルゴリズム設計を実践できたこと。
	活かされた	
	20代	仕事において、基礎的な技術が身についた（プログラミング等）
	50代	理論的な思考、探求心
	60代	自分に合っている専門分野を勉強できたから
	60代	いろいろなタイプの友人、恩師に恵まれたのもものの見方に多様性が出たと思います。
	60代	仕事に直結した
	60代	積極的に社会に参加する姿勢が養われた
	60代	プログラミング技術、その種の仕事に着いたので。
	60代	緑ゆたかな環境を好む生活
	70代	自身を客観的に見るよう心がけられる訓練になった。
	70代	自主的に学ぶ
	80代以上	自然体で付き合い合える友人たちに恵まれました
	特には感じない	
	20代	現在の職種が情報系であるため
	60代	勉学に励まなかった
	全く活かされていない	
	60代	無回答

問 12 あなたが、過去にタイムスリップして津田に入学前のご自身にアドバイスをするとしたら、それはどんなことですか？（複数回答可、回答：113 人）

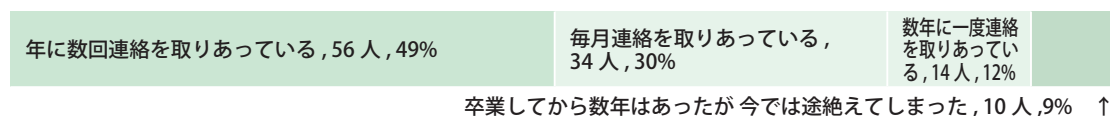


その他：社会活動を通して見聞を広めなさい、交換留学・留学生との交流、英語力と専門知識の両方を身につけること、目標を持ってそのための知識を習得する、低きに流れず理想を持て、健康管理、一人暮らしの経験、環境問題、帰国子女として日本社会で生き抜く協調性や交渉力を身につけなさい、いい先生がたくさんいるから助けてもらいなさい、もっと大学のことを知るようになさい等。

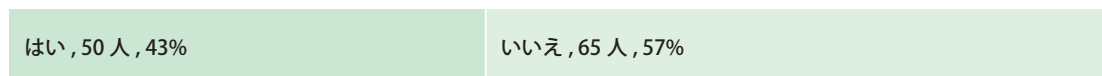
問 13 あなたは「津田塾たより」を読んでいますか？（回答：115 人）



問 14 同窓生との交流がありますか？（回答：114 人）



問 15 津田塾大学同窓会茨城支部の会員ですか？（回答：115 人）



これ以降は、茨城支部会員への質問になります。

まとめ

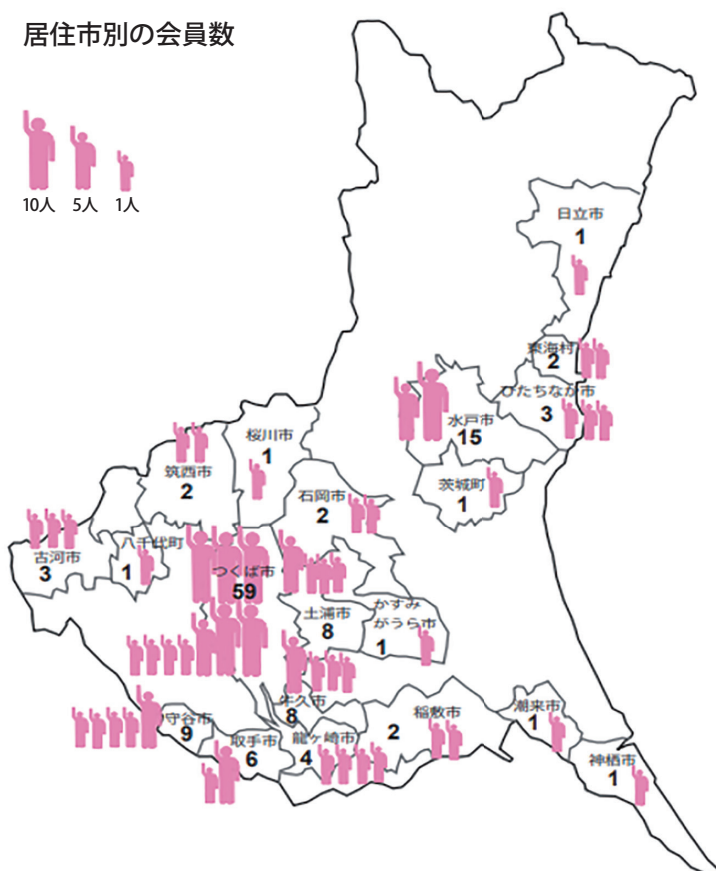
皆さんにご協力いただいたアンケートだが、回答者の84%が50歳以上の方々であった。若い方が大学時代を振り返る暇や同窓会に興味や関心が向きにくいことはよく理解できる。従って、50歳以上の意見が多いことを念頭にお読みいただきたい。

さて私たちは社会に出る前の最後の学びの場として津田塾大学を選んだ。理由のトップは専門知識の習熟の高さであった(54%)。在学中に77%が専門分野に対する興味・関心・意欲が増し、83%が学生生活に満足している。そして、卒業後、88%が津田で学んだことや経験が活かされたと感じている。活かされたことの具体的な内容はどれも興味深いが、「津田の出身なら」と寄せられた信頼や期待は多くの同窓生が感じていると思う。4年間は人生の中では短い期間だが、その後の生き方に深く影響し、母塾への尊敬・感謝の念は強い。しかし、「津田なら」という信頼は一朝一夕でできたものではない。大先輩の方々、一人ひとりがこつこつと精進して、長い時間をかけて築かれたものである。

今日本では、出生率が低下、若年層の人口が減少している。他方、大学進学率の上昇や大学数の増加もあり、社会が大学に求めるものも変化している。総合政策学部が新設され、Tsuda College から Tsuda University となり津田も時代の要請に応えようとしている。津田で学べたことを感謝して、母塾の更なる発展を祈りたい。

支部データ (2021 年 7 月現在)

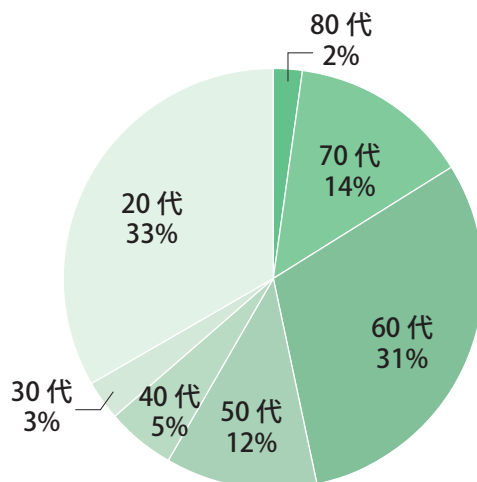
居住市別の会員数



つくば市	59
水戸市	15
守谷市	9
土浦市	8
牛久市	8
取手市	6
龍ヶ崎市	4
古河市	3
ひたちなか市	3
稲敷市	2
石岡市	2
筑西市	2
那珂郡東海村	2
結城郡八千代町	1
桜川市	1
神栖市	1
潮来市	1
東茨城郡茨城町	1
日立市	1
かすみがうら市	1

計 130 人

会員の年代別割合



年代別の会員数

80 代	3
70 代	18
60 代	40
50 代	15
40 代	7
30 代	4
20 代	43

計 130 人